

式辞

春爛漫の美しい季節となりました。

本日、福津市教育委員会教育委員様をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席のもとに福間中学校第77回入学式が挙行できますことを心より感謝申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆様ならびにご家族の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

福間中学校には、本日在校生代表で出席しております生徒会役員のように優しく頼りになる先輩たちがたくさんいます。生徒会の活動や学校行事・部活動などで、あたたかく、いろいろなことを親切に教えてくれることでしょう。学習面では教科が10教科となり、それぞれで専門の先生たちが指導してくれます。ICTを効果的に活用してわかりやすい授業をする先生や、皆さんのセンスを磨き学力・体力を高めてくれる先生、生活指導・進路指導に長けた先生など、70名以上の先生たちが皆さんのために日々準備し努力し、親身になって支え熱心に指導してくれます。積極的に聞いたり、困ったことがあったら相談したりしてください。そして、いろいろなことに興味を持って、たくさん学んでほしいと思います。また、部活動でも、生徒のために熱心に指導してくれる先生たちや指導者の方がおられます。ぜひ、部活動にも入部してください。

また、本校は、めざす生徒の姿を「自立」「共働」「参画」という三つの言葉で示しています。「自立」とは、自分の良さや弱点など自分の特徴を知り、自分にあった方法で自分を高める生徒です。「共働」とは、相手を尊重し、対話により意見の一致を図り、協力して行動できる生徒です。そして、「参画」とは、学校・地域を愛し、よりよい環境を目指し、積極的にできることに取り組む生徒です。このように学ぶ中、先輩たちはセルフ授業やシズンシップ教育を考え、本年度から取り入れて行っていくところです。楽しみにしててください。

さて、今話題のピッチャーとバッターの、二刀流で活躍する大谷翔平選手を皆さんも知っていると思いますが、彼の歩んできた人生は、いくつもの生き方のヒントとなるものがあります。彼は小学校で野球を始めたころから「野球ノート」をつけています。そこには、その日に起きた良かったこと、悪かったこと、自分が感じた「次にこういうことをやろう」という内容を書き込むようにしているそうです。野球以外でも自分が気づいたこと、読書の中で心の残ったフレーズも自分に活かせないかとメモに残し、良いきっかけ作りに利用しています。この良いものを取り入れようとするメモや、一日の振り返りを書く習慣が「考える」という作業に深みを与え、意識づけとなって、絶えざるレベルアップの原動力になっているそうです。これはプロで有名になった今でも、アイパッドで続けているそうです。そして、見るポイントは相手のいいところだけを見て、こういうところを真似してみようなど、自分をどう高め成長させるかに興味があるそうです。また彼は、できないと言われたり、そう思っていたことが「できるんじゃないか」と思うことで、できるようになった体験を経て、最初からできないと決めつけることは、やめようと考え方を変えたそうです。いろいろなことをスポーツの素晴らしさや、感動と共に教えてくれています。

みなさんも今日入学した402名のたくさんの仲間の良いところを見て、自分に活かせる良いことは取り入れ、気づいたことのメモや振り返りをして自分を高め成長させください。自分の限界やゴールは他人が決めるものではありません。たくさんのことができるようになる経験をしてほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆さま、改めまして、お子さまのご入学おめでとうございます。私たち教職員は、生徒の限りない可能性を信じ、生徒の力を最大限伸ばすよう、全力を挙げて教育活動に邁進してまいります。コミュニティ・スクール福間中学校の教育に、なにとぞ、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

一人一人の生徒が着実に前進していくことを、お約束して、式辞といたします。

令和5年4月12日
福津市立福間中学校
校長 清水 光朗